

連携・協働型について

- 「連携・協働型」とは、社会福祉事業者／活動者等と研究者、または異なる専門領域の複数のメンバーの方がチームを形成し、同一の社会課題に対し、より多角的に、ダイナミックに挑戦する提案型の応募です。
- 研究者と事業者（類型1.の場合）、もしくは複数の異なる領域の専門家（類型2.の場合）がそれぞれの得意分野を生かした明確且つ対等な立場で役割を分担し、チームを構成することにより、研究者や事業者が課題をより多面的にとらえ、深掘し、より有効な成果を目指して頂くものです。
- 財団ホームページに掲載している応募Q&Aも参考にして頂き、連携・協働型に該当するか否か、どちらの類型にあてはまるかをご判断下さい。（連携・協働型とすることで選考上有利になることはございません。）

類型1. 研究・事業活動連携型 （下記概念図におけるAの場合）

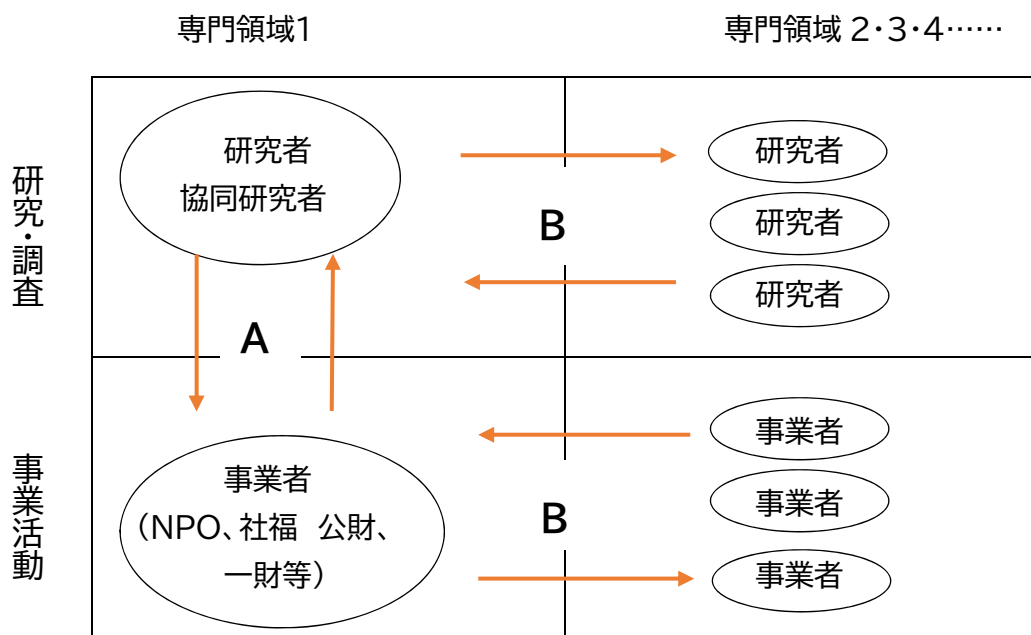
一つのテーマに対し、研究者と事業者（現場の活動者）がチームを組んでいること。

類型2. 複数領域協働型 （下記概念図におけるBの場合）

一つのテーマに対し、複数の異なる領域の専門家（研究者同士、または事業者同士がチームを組んでいること。

なお、類型1.と類型2.を組み合わせることも可能です。その場合は、適宜どちらかの類型を選んで申請して下さい。「連携・協働型」のチームは、上記の通り、一つの社会課題を解決するために、社会福祉の活動者等と研究者、または異なる専門領域の複数のメンバーを想定しています。チームメンバーは研究や活動（事業）に主体的立場で参加するメンバーとしてください。また、チームメンバーには営利を目的ではご参加頂けませんので、営利的な利害関係者（外部委託先）の方はチームメンバーには入れません。

《一案件(テーマ・プロジェクト)における連携・協働の概念図》



以上